

**平成30年度「住友化学グローバルリーダー育成奨学金」
(大阪大学未来基金グローバル化推進事業) 募集要項**

1. 趣旨・目的

世界トップクラスの大学等への海外留学を通じて国際感覚や異文化適応力を身につけ、将来、日本企業のグローバルな事業活動において、チャレンジ精神とリーダーシップを発揮し、自ら事業を創出又は牽引する学生、もしくは、イノベーションへ結びつけるべく積極果敢にチャレンジする意思を有する学生の海外留学を支援する「住友化学グローバルリーダー育成奨学金」の支給を行う。

2. 応募資格・条件

留学開始から終了までの期間、本学に在学する正規生（休学者、国費外国人留学生、日本学術振興会の特別研究員を除く）であり、人物・学業成績、学修もしくは研究意欲及び語学力に優れ、志操堅実かつ健康であり、以下の条件を満たす者

なお、外国人留学生の母国への留学について、本制度利用を妨げない。ただし、状況により減額する可能性がある。

- ① 将来、日本企業（製造業が望ましい）にて活躍する意思を有する者
- ② 以下の要件（Ⅰ）または（Ⅱ）を満たす者

（Ⅰ）アントレプレナー人材

世界のトップクラスの大学への海外留学を通して国際感覚や異文化適応力を身につけ、将来、日本企業のグローバルな事業活動において、チャレンジ精神とリーダーシップを発揮し、自ら事業を創出または牽引する意思を有する者。もしくは、本学が実施しているアントレプレナー教育プログラムを修了している学生。

（Ⅱ）イノベーション人材

海外留学を通じて世界のトップクラスの大学、研究機関（シリコンバレーなどに立地する、海外企業の研究所等を含む）で研鑽を積み、将来、日本企業の研究活動において、新たな価値を自ら創造し、その価値をイノベーションへ結びつけるべく、積極果敢にチャレンジする意思を有する者。

※「世界のトップクラスの大学」は、世界大学ランキングで上位100位以内に位置する大学とする。

- ③ 留学期間を通じて本学における在籍状況を「在学」または「留学」とすること。「休学」して本奨学金を受給することは認められない。
※交換留学、ダブルディグリー制度による留学については、留学目的が本事業の趣旨に合致する場合、応募可とする。
※単なる語学留学、学会発表、研究視察、研究室訪問滞在等は対象としない。
※学位取得を目的とした海外大学への留学は対象としない。
- ④ 平成30年4月1日から平成31年3月31日の間に留学を開始する計画であること。
- ⑤ 留学期間が原則として6か月以上であり、海外留学に関する他の奨学金を受給しない者
※3か月以上の留学であれば申請を行うことは可。
- ⑥ 現地での活動に必要な査証を取得すること。
- ⑦ 留学について、大阪大学の指導教員の下承が得られていること。
- ⑧ 留学開始前に、必ず海外旅行傷害保険（治療・救援費用保険金額が3千万円以上のプラン、賠償責任保険付き）及び派遣学生危機管理サービス（OSSMA）に加入すること。

3. 奨学金の内容

留学のための費用に対し以下の奨学金を支給する。支給は5月中旬以降となる。

留学先地域により以下の金額を支給する。詳細は別紙参照。

A 地域：渡航期間が6か月未満の場合：	70万円
渡航期間が6か月以上の場合：	100万円
B 地域：渡航期間が6か月未満の場合：	50万円
渡航期間が6か月以上の場合：	70万円

但し、期間短縮などで早期帰国となった場合や夏季休業等で当該月に最低1日以上留学先の国に滞在しない場合は、以下の基準に基づき返納するものとする。

A 地域：8万円／1か月

B 地域：6万円／1か月

4. 支給予定数

人文・社会科学系分野：1名程度

理工・医歯薬系分野：2名程度

5. 提出期限

平成30年1月31日（水）【国際学生交流課提出期限・期日厳守】

※所属学部・研究科における提出期限を各自確認すること。

6. 応募方法

応募期限までに下記①～⑥の書類（各1部・A4サイズ）を所属学部・研究科の留学担当係に提出すること。①についてはエクセルデータでも、⑦についてはエクセルデータでのみ下記メールアドレス宛てに提出すること。

① 「住友化学グローバルリーダー育成奨学金」申請書

② 留学先大学等の受入れ（見込み）が証明できるもの（受入許可書の写し、留学先指導教員との往復書簡（メール）の写し、交換留学内定通知等）※但し、使用言語が日本語又は英語以外による場合は和訳文を添付すること。

③ 指導教員の推薦状

④ 語学能力を証明する書類（留学先で主に使用する言語の語学能力検定試験スコアシートの写し等）

⑤ パスポートの写し（カラーコピー）：氏名・顔写真の頁

⑥ 在留カードの表裏の写し（外国籍保有者のみ）

⑦ 面接日程回答票

【①、⑦エクセルデータ提出先】

メールアドレス： outbound@ciee.osaka-u.ac.jp

メールタイトル：「住友化学奨学金申請（学籍番号・氏名）」

【募集要項・申請書等様式掲載 URL】

<http://www.osaka-u.ac.jp/ja/international/outbound/scholarship>

7. 選考方法

書類審査及び面接により選考を行う。

面接選考は以下のいずれか1日に住友化学大阪本社で実施する。

平成30年3月6日（火） 14時～17時

3月7日（水） 14時～17時

※指定された面接日に参加できない場合は、選考を辞退したものとみなす。

※面接に係る交通費の支給は行わない。

8. 選考結果の通知

所属学部・研究科を通じて4月下旬頃応募者本人に採否及び支給額の通知を行う。

なお、採用後、留学期間・留学計画の変更がある場合は、速やかに国際学生交流課にその旨を連絡すること。内容によっては再審査の対象となる。

※他の奨学金の受給を目的として本奨学金を辞退することは一切認めない。

9. 授与式への参加

授与式及び懇親会を開催するので、採用決定者は必ず出席のこと。

10. 奨学金の振込

指定された本人名義の国内銀行口座へ一括して奨学金を振込む。受給に係る手続き方法及び提出書類については採択者に別途通知する。

11. 帰国後の報告義務

帰国後1か月以内に所属学部・研究科の留学担当係を通じて留学成果報告書（所定様式）及びパスポート（出入国記録のページ）の写し、留学中の写真を国際学生交流課に提出すること。報告された成果は、氏名と共に本学ホームページ等において公開される場合がある（公開する内容・時期について要望がある場合は、報告書類提出の際に申し出ること）。

※期日を過ぎて報告書類の提出が無いときは、奨学金の返金を請求する場合があるので、留意すること。

12. 成果の発表

本奨学金を受給して留学し、その成果を論文や学会等で発表する場合は、当該論文もしくは学会要旨等に本奨学金による支援を受けた旨明記し、その写しを国際学生交流課に提出すること。

【記載例】

日本語：本研究は、2018年度「住友化学グローバルリーダー育成奨学金」（大阪大学未来基金）による支援を受けたものである。

英語：This work was supported by The Sumitomo Chemical Scholarship Program for Global Leadership Development, Osaka University Foundation for the Future Activities 2018.

【本件問い合わせ先】国際部国際学生交流課
Tel: 06-6879-7102
outbound@ciece.osaka-u.ac.jp

留学先地域による奨学金月額

地 区	地域名・都市名
A 地域	<p>【国・地域名】 北米、シンガポール、欧州(一部地域を除く)、中近東</p> <p>(除外国) アゼルバイジャン、アルバニア、アルメニア、ウクライナ、ウズベキスタン、エストニア、カザフスタン、キルギス、ジョージア(旧グルジア)、クロアチア、コソボ、スロバキア、スロベニア、セルビア、タジキスタン、チェコ、トルクメニスタン、ハンガリー、ブルガリア、ベラルーシ、ポーランド、ボスニア・ヘルツェゴビナ、マケドニア旧ユーゴスラビア共和国、モルドバ、モンテネグロ、ラトビア、リトアニア、ルーマニア、ロシアを除く)</p>
B 地域	アジア (シンガポールを除く)・大洋州・中南米・アフリカ及び上記除外国